

施策評価シート

施策等名称	多文化共生のまちづくり(生活応援体制の確立)	体系番号	0704010101
		主管課	地域創生課

1 施策基本情報

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 茅野市においても国際化が進み、多くの外国籍市民が生活しています。また、国際交流の機会も広がり、地域と世界の関わりは、日常的なこととなっています。 こうした国際化の流れに的確に対応するためには、関連団体との連携や支援を行うことで、外国籍市民の自立に向けた新たな支援を含む多文化共生のまちづくりを推進するとともに、国際化に対応できる人材の育成が必要です。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく、多文化共生のまちづくりを推進します。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	
				2022年度目標値	2027年度目標値
①	市役所窓口における申請書等のルビ振りや「やさしい日本語」による作成状況の割合	%	5.00	20.00	40.00
				288	360
②	日本語教室への参加者年間延数	人	224		
③					

施策の柱 1	名称	情報発信・情報提供	主管課	生涯学習課				
	詳細	茅野市で生活する外国籍市民が自立した生活を送れるように、多言語に加えて「やさしい日本語」による情報発信を行います。また、観光等で訪れた外国人も利用できるように、様々な情報を多言語により発信します。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	5カ国語及びやさしい日本語による生活情報誌の発行	冊(1言語につき100冊)	600	600	1	多文化共生推進事業	実施
					600	2		
	2	市役所窓口における申請書等のルビ振りや「やさしい日本語」による作成状況の割合	%	5.00	20.00	3		
					40.00	4		
	3	日本語教室への参加者年間延数	人	224	288	5		
					360	6		
	基本政策間連携							

施策の体系	名称	分野別の支援	主管課	生涯学習課				
	詳細	①「保健・医療・福祉」②「子育て・教育」③「労働・雇用」④「資源物・可燃物等の出し方」⑤「防災の取組」⑥「地域社会との交流推進」の6つの分野において、外国籍市民への支援を行います。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	5カ国語及びやさしい日本語による生活情報誌の発行	冊(1言語につき100冊)	600	600	1	多文化共生推進事業	実施
					600	2		
	2	市役所窓口における申請書等のルビ振りや「やさしい日本語」による作成状況の割合	%	5.00	20.00	3		
					40.00	4		
	3	日本語教室への参加者年間延数	人	224	288	5		
					360	6		
	基本政策間連携							

施策の柱 3	名称		主管課					
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1					1		
						2		
	2					3		
						4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							

施策等名称	多文化共生のまちづくり(生活応援体制の確立)	体系番号	0704010101
		主管課	地域創生課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	市役所窓口における申請書等のルビ振りや「やさしい日本語」による作成状況の割合	5.00	15.15	15.15	20.00		
1		20.00	75.75	75.75	100.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	近年は、ベトナムやインドネシアの住民が増えている。そのため、やさしい日本語による書類の需要が増えていると考えられる。					
	2019年度	近年は、ベトナムやインドネシアの住民が増えている。そのため、やさしい日本語による書類の需要が増えていると考えられる。					
	2020年度	近年は、ベトナムやインドネシアの住民が増えている。そのため、やさしい日本語による書類の需要が増えていると考えられる。					
	2021年度						
	2022年度						
施策	日本語教室への参加者年間延数	224	223	132	114		
2		288	77.43	45.83	39.58	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	技能実習生等、働いている方の参加が多いが、勤務が不規則であり、毎回の参加が難しいと思われる。					
	2019年度	技能実習生等、働いている方の参加が多いが、勤務が不規則であり、毎回の参加が難しいと思われる。また、感染症の流行の影響により、参加者が減少した。					
	2020年度	感染症の流行の影響により開催できない日もあり、参加者が減少した。					
	2021年度						
	2022年度						
柱1	5カ国語及びやさしい日本語による生活情報誌の発行	600	600	600	600		
1		600	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	5カ国語及びやさしい日本語による生活情報誌の内容について見直しを行い発行した。					
	2019年度	5カ国語及びやさしい日本語による生活情報誌の内容について、一部見直しを行い発行した。					
	2020年度	5カ国語及びやさしい日本語による生活情報誌を発行した。					
	2021年度						
	2022年度						
柱1	市役所窓口における申請書等のルビ振りや「やさしい日本語」による作成状況の割合	5.00	15.15	15.15	20.00		
2		20.00	75.75	75.75	100.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	近年は、ベトナムやインドネシアの住民が増えている。そのため、やさしい日本語による書類の需要が増えていると考えられる。					
	2019年度	近年は、ベトナムやインドネシアの住民が増えている。そのため、やさしい日本語による書類の需要が増えていると考えられる。					
	2020年度	近年は、ベトナムやインドネシアの住民が増えている。そのため、やさしい日本語による書類の需要が増えていると考えられる。					
	2021年度						
	2022年度						
柱1	日本語教室への参加者年間延数	224	223	132	114		
3		288	77.43	45.83	39.58	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	技能実習生等、働いている方の参加が多いが、勤務が不規則であり、毎回の参加が難しいと考えられる。					
	2019年度	技能実習生等、働いている方の参加が多いが、勤務が不規則であり、毎回の参加が難しいと思われる。また、感染症の流行の影響により、参加者が減少した。					
	2020年度	感染症の流行の影響により開催できない日もあり、参加者が減少した。					
	2021年度						
	2022年度						
柱2	5カ国語及びやさしい日本語による生活情報誌の発行	600	600	600	600		
1		600	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	5カ国語及びやさしい日本語による生活情報誌の内容について見直しを行い発行した。					
	2019年度	5カ国語及びやさしい日本語による生活情報誌の内容について、一部見直しを行い発行した。					
	2020年度	5カ国語及びやさしい日本語による生活情報誌を発行した。					
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	多文化共生のまちづくり(生活応援体制の確立)	体系番号	0704010101
		所管課	地域創生課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱2 2	市役所窓口における申請書等のルビ振りや「やさしい日本語」による作成状況の割合	5.00	15.15	15.15	20.00		
		20.00	75.75	75.75	100.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	近年は、ベトナムやインドネシアの住民が増えている。そのため、やさしい日本語による書類の需要が増えていると考えられる。					
	2019年度	近年は、ベトナムやインドネシアの住民が増えている。そのため、やさしい日本語による書類の需要が増えていると考えられる。					
	2020年度	近年は、ベトナムやインドネシアの住民が増えている。そのため、やさしい日本語による書類の需要が増えていると考えられる。					
	2021年度						
	2022年度						
柱2 3	日本語教室への参加者年間延数	224	223	132	114		
		288	77.43	45.83	39.58	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	技能実習生等、働いている方の参加が多いが、勤務が不規則であり、毎回の参加が難しいと考えられる。					
	2019年度	技能実習生等、働いている方の参加が多いが、勤務が不規則であり、毎回の参加が難しいと思われる。また、感染症の流行の影響により、参加者が減少した。					
	2020年度	感染症の流行の影響により開催できない日もあり、参加者が減少した。					
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	多文化共生のまちづくり(生活応援体制の確立)	体系番号	0704010101
		主管課	地域創生課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)	2019年(前年度比)	2020年(前年度比)	2021年(前年度比)	2022年(前年度比)	
投資額	事業費(円)	910,303	815,048 0.90	701,199 0.86	1,050,000 1.50		
	うち一財(円)	910,303	815,048 0.90	701,199 0.86	1,050,000 1.50		
	増減理由(一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日本語教室及び日常生活相談の開催を中止したことにより、講師謝礼等の支払が減少したため、前年度に比べ事業費が減少した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日本語教室及び日常生活相談の開催を中止したことにより、講師謝礼等の支払が減少したため、前年度に比べ事業費が減少した。			
進捗評価		おおむね順調	おおむね順調	やや遅れている			
総合評価	主な取組内容や成果	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室は、日本語を学ぶ場としての機能だけでなく、悩みを気軽に相談できる場所として利用されている。 日本語教室開催後には日常生活相談を開催し、時間をかけて相談に応じている。 5か国語及びやさしい日本語による生活情報誌の内容を見直し、目標どおり発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室は、日本語を学ぶ場としての機能だけでなく、悩みを気軽に相談できる場所として利用されている。 日本語教室開催後には日常生活相談を開催し、時間をかけて相談に応じている。 5か国語及びやさしい日本語による生活情報誌の内容を一部見直し発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室は、日本語を学ぶ場としての機能だけでなく、悩みを気軽に相談できる場所として利用されている。 日本語教室開催後には日常生活相談を開催し、時間をかけて相談に応じている。 5か国語及びやさしい日本語による生活情報誌を発行した。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室の参加者を増やすため、検討が必要である。 日本語教室の開催日時を変更することは難しい。参加者が多くなりすぎても、現体制では対応できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者を増やすため、日本語教室の開催日時について検討が必要である。 参加者が多くなりすぎても、現体制では対応できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け日本語教室の参加者は減少したが、土曜日(第2のみ日曜日)の開催にしたことで一定数の参加がある。土曜日は行事が多く会場の確保ができないことがあり、今後の課題である。 			
改革・改善	改革・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室の参加者を増やすため、周知方法を検討する。 生活情報誌の配布方法について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室の参加者を増やすため、開催日を土曜日とする。開催日が休館日と重なる場合は、日曜日に開催する。 生活情報誌の需要が過去に比べ少ないため、配布数を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活情報誌等については、紙媒体での配布だけでなくHP等での情報発信についても検討していく。 日本語教室は感染状況を考慮し、安全・安心な開催を優先する。参加者を増やすため、周知方法について検討していく。 			
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	2	2	2		
		重点事務事業	1	1	1		
	理由	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍市民が、日本の文化や生活習慣の違いを理解し、自立した生活を送るためには、分野別の支援が必要となるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍市民が、日本の文化や生活習慣の違いを理解し、自立した生活を送るためには、分野別の支援が必要となるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍市民が、日本の文化や生活習慣の違いを理解し、自立した生活を送るためには、分野別の支援が必要となるため。 			

作成担当者	田中美和	田中美和	宮下りよ		
最終評価責任者	平出信次	北沢政英	小平雅文		
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年6月16日		